

CSR

Environmental Report 2022

かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを・・・



トップメッセージ



かけがえのない地球を守るため、
私たちが今できることを・・・

小林クリエイト株式会社

代表取締役社長

小林 友也

平素は各段のご高配を賜り誠にありがとうございます。

この報告書では、当社 2021 年度(2020 年 10 月から 2021 年 9 月)における SDGs、CSR 活動、環境活動の取り組み状況ならびにその結果をご報告致します。

昨年度に引き続き 2021 年度もコロナウィルスが猛威を振るい、我が国経済は大きな影響を受け続けています。特に、製造業においては原油価格の高騰、半導体供給不足によって、様々な産業で生産が滞り、自動車、機械、家電製品を中心に手に入りにくい状況になっています。当社取引先でもある自動車産業においては生産量調整、生産休止など、景気回復の機運に水を差す形になっています。今後は半導体供給も徐々に回復し、各方面での生産量は回復することが見込まれますが、物流量の増加、原油価格高騰、労働力不足など物流面での課題が今以上に重大化すると想定されます。

さて、当社においては一昨年度からフォーム印刷分野、サプライ分野で売上減少が続き、全社売上高はマイナス成長となりました。しかし、中期経営計画で成長分野として掲げた BPS、バックオフィスは伸長させることができ、取組成果に手応えを感じています。その結果 2021 年度は減収となったものの増益という結果を残すことができました。現在この成長分野を更に強化すべく、新しい生産拠点の構築を検討しています。生産性改革、物流改革、エネルギー改革を着実に進めてまいります。

環境活動の面では、当社としてはひきつづき環境スローガンである「かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを・・・」を掲げ、地球温暖化対策(CO2削減)・省エネルギーの実現に全社一丸で取り組んでまいります。具体的には、原材料の調達・開発・製造・輸送・廃棄(リサイクル)のプロセスにおける環境負荷低減活動に向けた取り組みを「環境マネジメントシステム(ISO14001認証)」により計画実行していきます。また、地域貢献及び地域社会とのコミュニケーション活動として、愛・道路パートナーシップへの参加、環境クリーンキャンペーンを実施していきます。

最後に、当報告書の発行に際し、ご協力を頂きました関係各位へ誌上ではございますが厚く御礼を申し上げます。本報告書を御高覧いただき、皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

2022 年 3 月

SDGs 宣言

小林クリエイトの「SDGs 宣言」を行いました。

私たちは
「SDGs (Sustainable Development Goals) 」
に賛同し
会社と世界の人々の生きがいを創造します。

取組内容



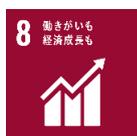
森林資源保護のため、全社で排出される紙資源のロス低減を図ります。



業務継続の重要性を認識し、強固な生産体制を築くとともに、省エネルギーへの取組みを継続します。



情報格差の是正のため、当社が提供する製品へのユニバーサルデザインの利用を積極的に推進します。



既存事業分野の高収益化と、新分野への積極的な挑戦によって、高付加価値製品、サービスを提供し続けます。

具体的な目標を定め、持続可能な社会の実現に貢献していきます。
また、活動内容は今後「CSR・環境報告書」で報告していきます。

環境方針・推進体制

全ての事業活動において『環境負荷の低減』『環境関連法規制の順守』『顧客からの環境関連要求事項の順守』によって、現在および未来の環境保護活動への貢献を目指します。

小林クリエイト株式会社 環境方針

小林クリエイト株式会社は、記録用紙、ビジネスフォーム製品の製造・販売、情報処理サービスなど、全ての事業活動において、経営者及び社員一人ひとりが現在及び未来の地球環境を守ることに貢献します。

環境方針

1. 環境目的・環境目標を定めて見直し、環境マネジメントシステムの自主的な維持向上と運用を通じて継続的な改善と汚染の予防に努めます。
2. 省資源、省エネルギー、環境関連物質による環境負荷の低減、廃棄物の削減、資源のリサイクル化を積極的に推進します。
3. 全従業員に環境教育を実施し、社員一人ひとりの環境活動に対する意識の向上を図ります。
4. 環境保全活動・生物多様性保全活動への積極的な参画による地域社会との共生、環境配慮型商品の開発と提供を通じて、豊かで持続可能な環境社会の実現に貢献します。
5. 環境関連法規制及びお客様からの環境関連要求事項等、当社が認める他の要求事項を順守します。
6. 環境マネジメントシステムは、本社・本社工場、安城工場、東京情報処理センターで運用を行います。
7. 環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般への開示を行います。

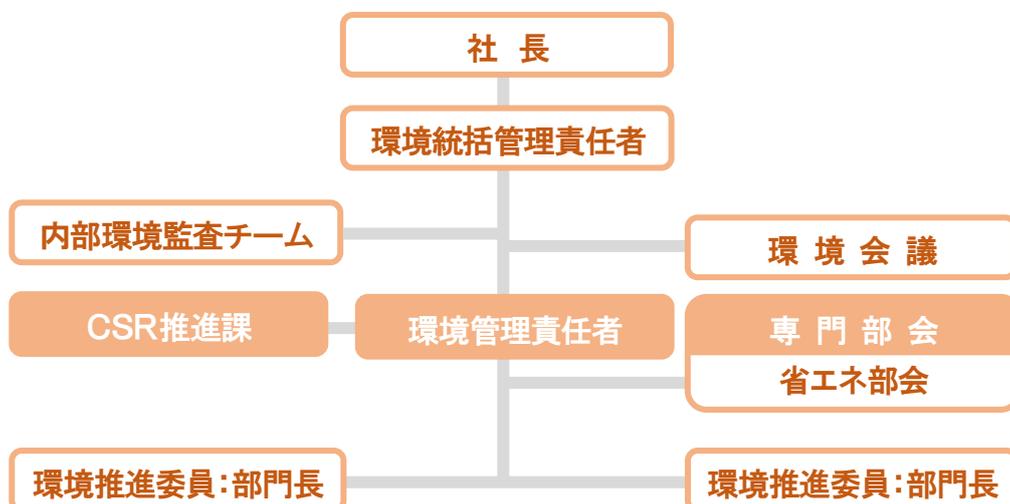
制定日 2000年 3月24日

改定日 2015年10月 1日

【環境スローガン】 かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを…

環境マネジメントシステムの推進体制

環境マネジメントシステム推進組織図



当社は、環境保全活動を継続的に実施するため、左記の推進体制により、活動を実施しています。活動は、部門単位（または部門の集合単位）で任命された環境推進委員（部門長）を中心に進めています。また、専門部会を設置し、全社的な取り組みを実施しています。

コミュニケーション

要望・苦情

要望 地元ボランティア団体に
余剰カレンダーの提供を
行いました。

苦情 苦情は、ありませんでした。



余剰カレンダーの提供

社会貢献活動 地域とともに

就労支援

特別支援学校の作業体験授業（メモ帳製作）で
使う上質紙を無償提供し活用していただいで
います。



作業体験の授業で製作したメモ帳

刈谷市より児童福祉振興への寄与に対して
感謝状をいただきました。



環境クリーンキャンペーン

本社・本社工場、安城工場にて定期的に職場
近隣の清掃活動を実施しています。



愛・道路パートナーシップ事業

社会・環境への貢献と地域の美化を目的として日々
活動しています。更にこの活動を通して、地域に貢
献していきます。



内部監査

2021年度は、延べ18名の内部監査員により、環境管理責任者、推進単位、専門部会に対して内部監査を実施しました。内部監査では、マネジメントシステムの有効性に重点を置いた監査方法を取り入れております。

年度	対象部門	是正要件数	観察事項件数	肯定的観察事項件数
2019年度	11部門	1件	32件	10件
2020年度	12部門	2件	17件	11件
2021年度	11部門	2件	22件	11件

環境リスク

緊急事態への対応

本社・本社工場、安城工場において、環境リスクが大きいと想定される緊急事態を特定し、直接又は間接要因で起こりうる有害な環境影響を予防・緩和するための手順を定めています。年に1回、主管部門が緊急事態の対応テストを実施し、手順の有効性を確認しています。



緊急事態対応テスト

発生場所	想定される緊急事態	生じる環境影響
本社・本社工場		
三次処理施設	処理不能物の投入、装置故障、配管の破損・破裂による規制値オーバーの汚水の流出	水質汚濁 土壌汚染
廃油缶	廃油回収作業ミス、廃油缶の転倒・破損による防油堤外への廃油の流出	
ドラム缶（廃洗浄液）	ドラム缶の破損転倒による防油堤外への廃洗浄液の流出	
水処理装置（水棒ピット）	装置の故障による規制値オーバーの汚水の排出	
廃液保管庫	廃液回収装置の破損・取扱不備による防液堤外への廃液の流出	水質汚濁 土壌汚染 悪臭
安城工場		
三次処理施設	処理能力の低下、処理不能物の投入、装置故障、配管の破損・破裂による規制値オーバーの汚水の流出	水質汚濁 土壌汚染
危険物屋内貯蔵所	貯蔵所倒壊、容器破損による溶剤、油の流出	
廃糊コンテナ	コンテナ・防液堤の破損による廃糊液の流出	

発生事故とその対応

2021年度に発生した事故はありませんでした。

環境パフォーマンス

環境への改善活動を効果的に進めていくために、自らが発生させている環境への負荷やそれに係る対策の成果を常に把握し監視しています。

化学物質管理 (PRTR 法該当物質取扱量内訳)

物質名	取扱量(kg)	%
ほう素化合物	282	34.0
トルエン	269	32.3
1,2,4-トリメチルベンゼン	85	10.2
マンガン及びその化合物 (マンガンとして)	85	10.2
その他	111	13.3
合計	832	100

エコバランス

当社が2021年度の事業活動を行うにあたり、投入された資源の量と発生した環境負荷を集計しました。

INPUT

エネルギー	電気	12,706 千kwh
	都市ガス	245 千m ³
	LPGガス (オートガス)	4 t
	ガソリン・軽油・灯油	31 kL
原副材料	原紙	17,305 t
	インキ・糊・溶剤	255 t
	フィルム・版材	8 t
	梱包材 など	727 t
水	上水	10 千m ³

小林クリエイト 株式会社

本社・本社工場
安城工場
東京情報処理C

製品

OUTPUT

廃棄物	総廃棄物量	4,072 t
	焼却・埋め立て廃棄物量	50 t
	ヤレ紙発生量 (紙へのリサイクル)	2,686 t (2,347 t)
排水	処理水量	10 千m ³
CO ₂	CO ₂ 排出量	6,070 t CO ₂

パフォーマンスデータ

エネルギー投入量	単位	本社・本社工場			安城工場			東京情報処理C		
		2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021
電気使用量	千kwh	10,391	9,864	9,718	2,128	1,825	1,868	1,125	1,191	1,120
ガス使用量	千m ³	260	248	222	25	22	23	-	-	-
排出量データ	単位	2019	2020	2021	2019	2020	2021	2019	2020	2021
CO ₂ 排出量	t CO ₂	5,683	5,312	4,572	1,088	918	903	598	632	595
総廃棄物量	t	3,249	3,115	3,115	740	651	730	143	211	228
インキ廃棄量	t	4.0	3.4	3.4	0.3	0.2	0.2	0.7	0.7	0.7
糊廃棄量	t	4.2	2.4	3.8	0.0	0.0	0.0	-	-	-

CSRの取り組み

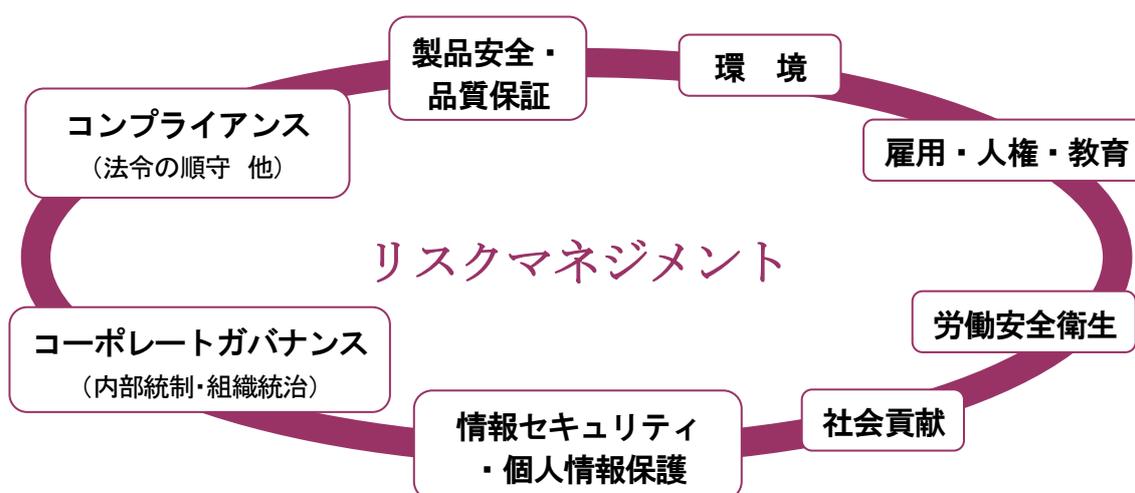
当報告書では、当社が推進してきました“CSR”として包括される諸事項について、施策毎の切り口より、これまでの主な取り組みや体制及び直近の主要な取り組みの内容についてご報告しています。

小林クリエイト株式会社のCSR

当社のCSR推進における基本は「社訓」「経営理念」とし、各施策やマネジメントシステム毎に適切な基本方針を設定し運用しています。

社訓・経営理念

CSRの推進に当たっては、創業以来『社訓』として掲げてまいりました「誠実・感謝・和協・愛情・奉仕」を基調に、『経営理念』を掲げ、社員への自覚を啓蒙しています。



コーポレートガバナンス、コンプライアンスへの取り組み

当社は、取締役会、監査役会設置会社として経営に関わる内部統制を行っています。

品質管理への取り組み

製品製造に関わる全工程においてISO9001（品質マネジメントシステム）認証を取得しており、“お客様にご満足頂ける製品・サービス”のご提案・ご提供を目指してまいります。

リスクマネジメントへの取り組み

「リスクマネジメント基本規程」を制定し、会社を取り巻く各種のリスクを評価し取り組むべき課題を明確にしています。

労働安全衛生の取り組み

法令を順守し、さらに職場における危険性や有害性を調査し、その結果に基づいて災害防止策を講じています。

情報セキュリティ・個人情報保護への取り組み

お客様からお預かりした情報（データ）や個人情報の機密性を最大限に確保することを重要な課題と位置づけ、プライバシーマーク認証、ISO/IEC27001（情報セキュリティマネジメントシステム）認証を取得し確実な運用と継続的改善を進めています。

小林クリエイト株式会社

<http://k-cr.jp>

本社 〒448-8656 愛知県刈谷市小垣江町北高根115番地
TEL 0566-26-5310 FAX 0566-26-5308

お問い合わせ先

CSR推進課

〒448-8656 愛知県刈谷市小垣江町北高根115番地
TEL 0566-26-5201 FAX 0566-26-5399
e-mail csr@k-cr.jp



JQA-EM7719

認証サイト：本社及び本社工場 安城工場
東京情報処理センター